

2012年4月28日

東北テニス協会理事長 高橋様
関係者各位殿

日本テニス協会 普及指導本部

普及推進委員会常任委員 藤本 幸久

PLAY+STAY部会 藤本 季朱子

日本女子テニス連盟東日本大震災支援 P+S指導者講習会報告

《東北震災復興支援P+Sフェスタ》

主催：東北テニス協会

日程：2011年12月17日（土）10:00～16:00

会場：八戸市南部山健康運動公園体育館

参加者：ジュニア 45名、日本女子テニス連盟 11名、八戸高校 15名、指導者多数



[コメント]

寒い体育館での開催でしたが、多くの子どもたちがセルフラリーからパートナーラリーと一所懸命取り組んでいただきました。最後は、子供たち、保護者の皆様、女子連の皆様も加わり暑い暑い団体戦となりました。皆さんの一生懸命さに私自身が感動いたしました。

キッズテニスフェスタ終了後、女子連の皆様、指導者の皆様はこのプログラムのコンセプトをお伝えしました。当日の様子を見られてご納得いただいたと思っております。

東北テニス協会理事長の高橋様、本当にお世話になりありがとうございました。

岩手県P+Sキッズ教室兼指導者研修会

主催：東北テニス協会

主管：岩手県テニス協会 普及委員会

日程：2012年2月25日（土）9:00～17:00

会場：サン・ビレッジ紫波

参加者：キッズ教室 午前の部 35名、午後の部 23名、指導者 24名



[コメント]

朝から元気なちびっこ達が集まって、寒い館内は一気に暑くなりました。とにかく子どもたちの活気が凄かったです。指導者の皆様も熱心に子どもたちに関わっていただき、午後も含めて一日中会場は、盛り上がりました。

次の日に遠野と釜石で復興支援の研修をされた四戸さん からお礼のメールをいただき、嬉しかったです。

岩手県で大変お世話になりました浅沼様、菊池様はじめ岩手県テニス協会の皆様、本当にありがとうございました。

秋田県P+S指導者講習会

主催：秋田県テニス協会

日程：2012年3月18日（日）10:00～16:00

会場：秋田市北野田公園 室内テニスコート

参加者：指導者14名、ジュニア18名



[コメント]

秋田県テニス協会会長の萩庭様、工藤様お世話になり、ありがとうございました。前日の打ち合わせでは私の体調不良により、途中退席してしまい申し訳ありませんでした。当日は、気合で乗り切りました。協会の皆様の協力により、無事に終わられて感謝いたしております。ありがとうございました。

午前中の座学にご参加いただきました指導者の皆様は、熱心にメモを取りながら私の説明を聞いてくださいました。ありがとうございました。

午後のオンコートでの実技では、4、5歳子どもたちも参加されていて、すぐにラリーとまではいきませんでした。教室の最後にはラリーをしてゲームを楽しんでました。さすがに3歳のお子さまのラリーは、難しかったようですが、お母様とラケットとボールを使いテニスを楽しんでました。指導者の皆様に手伝っていただき、全員でラリーしました。コートに笑顔がいっぱいで、みんなでラリーするのは、本当に楽しかったです。

宮城県PLAY+STAYキッズテニス教室、指導者講習会

主催：宮城県テニス協会

日程：2012年3月25日（日）10:00～16:00

会場：仙台市シェルコムせんだい

参加者：ジュニア6名、指導者12名



[コメント]

前日までは理事長の樋口様と打ち合わせさせておりましたが、当日は体調がすぐれないとのことで常任理事の青木様、日本女子テニス連盟常務理事の星山様の運営により、講習会が進められました。初の試みでしたが、座学で、実際にセルフラリーからパートナーラリーを体感していただきました。初めてレッドボールでのラリーを体感させる方もおられて盛り上がりました。

午後のオンコートでは、仙台市シェルコムせんだいの広さにビックリしました。サッカー、ソフトテニス、テニスと一つの施設にこれだけの子どもたちが集まっていることに驚きました。参加された子どもたちは、テニス経験に多少差がありましたが、指導者の方、保護者の皆様にも参加していただき、ほぼ全員でラリーを楽しんでいただきました。

最後は、指導者、保護者の皆様にも参加していただき、子どもたちも加えたチームで白熱したゲーム大会となりました。

山形県P+S事業開催

主催：山形県テニス協会（普及委員会）

日程：2012年4月21日（土）10:00～16:00

会場：高畠町屋内多目的運動場

参加者：指導者 17名、ジュニア 8名



[コメント]

山形県テニス協会副会長の竹田様には、本当に大変お世話になりました。ありがとうございました。また、米沢市テニス協会会長渡部様は、ご夫婦で熱心にご受講いただき感謝いたしております。

午前の座学では、カンファレンスで発表しました“PLAY+STAYの効果”をお話しさせていただきました。この東北での伝達講習でこの“効果”をお伝えしたのは山形だけです。

午後のオンコートでの実技は、スポーツ少年団の8名の子どもたちが参加してくれました。その中で、今回初めてテニスをされた真衣ちゃんが「楽しい！」と言いながらラリーをしていたのを指導者の皆様が驚きながら見られていたのが印象に残っております。

参加していただきました指導者の皆様、お疲れ様でした。熱心に受講していただき、ありがとうございました。

《所 感》

この度の日本女子テニス連盟による東日本大震災復興活動の一環で開催されました“PLAY+STAY伝達講習会、キッズテニス教室”では、各地域で大変お世話になりました。ありがとうございました。福島県は、溝口さんをお願いしましたが、各県のご担当の皆様のご協力により、お蔭様で青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県と東北6県の“PLAY+STAYの伝達講習会”を終えることができました。

昨年12月の八戸からスタートし、寒い時期ではありましたが、東北の皆様の温かさに支えられこの会場にも子どもたちの笑顔がいっぱいでした。そしてさらに指導者の皆様の熱意もあり、とにかく暑い暑い講習会を開催することができました。

この東日本大震災復興支援PLAY+STAY指導者講習会で各県を回らせていただいている途中、3月10日、11日にNTCにおいて、JTAカンファレンスがありました。その中で、日本テニス協会 畔柳会長から「日本テニス協会の普及は、グローバルスタンダードの“PLAY+STAY”で、テニスを楽しく続けてもらうために、普及活動を進めていきます。」というお話がありました。今後も日本テニス協会は、PLAY+STAYプログラムを普及させ、テニスのゲームの楽しさをより多くの方に伝えていきます。今回の伝達講習会で、全会場共、ITFからのメッセージとJTAからのメッセージを、お伝えできたと思っております。ご参加いただきました指導者の皆様がこのプログラムに興味を深く持たれ、熱心にご受講いただいたことに感謝いたします。

また、この講習会の開催に当たりましてご準備いただきました各県の普及委員の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後、このプログラムが、テニスを始める子どもたち、一般初心者の皆様の指導において定着することを願っております。そして、より多くの方々がラリーを楽しみ、そして初めてテニスをした日から“ゲーム”の楽しさを知ってもらいたいと思います。

東北各県でお世話になりました皆様、本当にありがとうございました。今回、初めて伺った東北で暖かい皆様に大変お世話になり、東北が大好きになりました。関西からは、遠い地ではございますが、機会がございましたらまた伺いたいと思っております。

今後ともよろしく願いいたします。

本当にありがとうございました。

